

2024年度 事業活動のご報告

「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へ

冷凍食品の取り扱いを拡大し、支援食品のレベル向上と食品ロス削減の両面に貢献できました



冷凍倉庫にて引き取り。冷凍車は満載！



フードバンクの冷凍庫へ搬入



冷凍車で受け取りに来た団体へ提供

取り組みや参加の輪が広がり続けています



食品ロス削減デザインコンテストの「缶バッジ」が大人気



孤独・孤立政策担当の内閣府職員の視察に対応



横浜市の呼びかけでラグビーの試合会場に出展

公益社団法人フードバンクかながわは県内 12 の非営利団体の協同により設立・運営する「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へとつなぐフードバンクです。

年間事業活動報告 2025 年 3 月 31 日現在

年間寄贈食品 重量 376.8 トン 企業・生協・JA 等 262.3 トン (うち寄付金での購入 41.9 トン) フードドライブ 114.4 トン	年間提供食品 重量 371.4 トン 行政・社会福祉協議会 29.5 トン 地域のフードバンク 159.3 トン こども / 地域食堂 101.4 トン 施設・福祉・外国関連支援 81.2 トン
---	--

寄贈合意書締結団体 318 団体 提供合意書締結団体 404 団体 行政・社会福祉協議会 66 団体 市民団体 338 団体 フードドライブ回収拠点 351 力所 2024 年度寄付金 15,699,304 円
--

賛助会員団体	241 団体
賛助会員個人	329 人
寄付金累計	104,591,134 円

決算報告は総会后ホームページにアップします



団体概要 / 情報公開ページ

代表理事・常務理事のあいさつ



代表理事（共同代表） 當貝 伸一
神奈川県生活協同組合連合会 代表理事会長
生活協同組合ユニーコ 代表理事専務

日頃よりフードバンクかながわへのご理解、ご協力ありがとうございます。『もったいない』を『分かち合い』『ありがとうへ』をスローガンに発足したフードバンク

かながわも皆様のご協力を得て8年目を迎え、当初の想定を超えてその輪が広がってきています。一方、残念ながら、格差と貧困の拡大、また物価高の中で、食支援を必要としている人々への支援はまだ不十分だと言わざるを得ません。

この間、地域では子ども食堂をはじめ、直接、食支援をする活動が爆発的に増えてきています。地域のフードバンクも立ち上がってきています。フードバンクかながわは、神奈川県における中核的なフードバンクとして、行政・社協・協力企業・地域の諸団体をつなぎ「地域のセーフティネット」を支えるプラットフォームのような役割を果たしていきたいと決意しています。

今後とも皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

常務理事 希代 監
生活クラブ生活協同組合 代表理事専務



私が在籍している生活クラブ生活協同組合（神奈川）では、2024年に居住支援法人を立ち上げ、9月から配送センターの旧職員寮を活用し、女性を対象としたケア付きシェアハウス「Nagomo 矢向」を開設しました。取り組みはまだ始まったばかりですが、10代で家族や社会から孤立し住まいを失った若者が、地域には多数いるという厳しい現実が見えてきました。生きづらさや困難を抱えた若者はそれまでの境遇とそれぞれの個性も併せ持って、円滑なコミュニケーションが難しい面もありますが、ワーカーズ・コレクティブの支援による食事提供の場においては和やかな対話や手作りの食事への感謝、そして信頼へとつながっています。食事の持つ力、そして大切さを実感します。

社会には明日の食事もままならない、困難を抱えた人が大勢います。安心して生活するために、困難を抱えた人が一歩踏み出していくために、住まいと食は大切なものです。小さくてもひとりひとりの支援が大きな力となる。そのためにフードバンクの機能があります。安心して住み暮らし続けられる地域社会を市民がつくる、そこに向けてフードバンクかながわへのご参加、ご協力を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



代表理事（共同代表） 林 克己
日本労働組合総連合会神奈川県連合会 会長
神奈川県労働者福祉協議会 会長

日頃より、「フードバンクかながわ」に対するご支援に感謝申し上げます。2018年の設立から7年が経過し、8年目を迎えることとなります。この間、賛助会員は

240団体・個人会員320名を超え、食品寄贈事業者数も約310社を超えました。また、食品受け取り団体も約400団体と増えています。皆様のご理解のもと『もったいない』を『わちあい』『ありがとうへ』の輪が着実に広がっています。

一方、近年の物価高とりわけお米の価格高騰により、フードドライブを含めた活動への影響が大きくなってきています。それぞれのご家庭でもご苦労がある状況かと思いますが、引き続きのご理解とご支援をお願い申し上げます。私たち労働組合・労働福祉団体としても、引き続き「お米一合運動」や「フードドライブ」活動を継続するとともに、学習会や体験研修を通じて「知ってもらい・伝えてもらい・行動する」を働く仲間を広げる運動に取り組んでまいります。

常務理事 網野 拓男
生活協同組合パルシステム神奈川 代表理事専務理事



2025年は、団塊世代が75歳以上になり、人口の高齢化から労働力不足や医療体制の崩壊などさまざまな問題、いわゆる“2025年問題”が起こるとされています。

具体的には①人材不足 ②医療費・介護費の増大 ③現役世代の社会保険料負担の増大 ④事業継承問題 ⑤医療体制維持の困難化です。これに“2025年の壁”既存システムの老朽化・ブラックボックス化・レガシーシステム化が加わります。

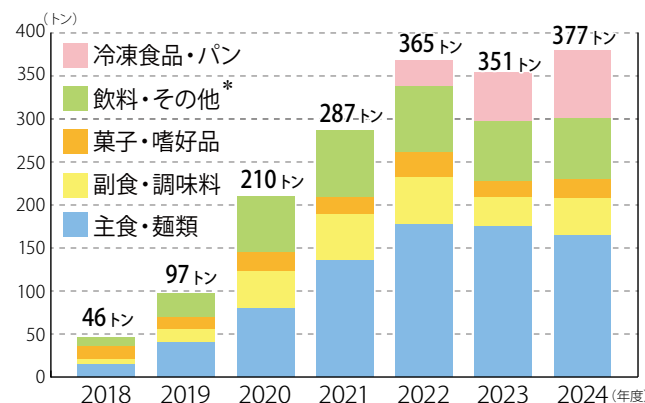
組織の主なりリスクは、急激な生産人口減と経済格差の増大でありその対応策として人材の定着・育成・離職（流出）率低減・多様な雇用形態の導入・DXの推進等が挙げられています。

フードバンクかながわは、理念・目的を一致させ、国内の経済格差がいち早く解消しフードバンク活動が不要となる社会となることを切に願い、県内の多様な組織から多様な人材が集まり、日夜 持続可能な地域共生の社会づくりを目指しています。引き続きフードバンクかながわの活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

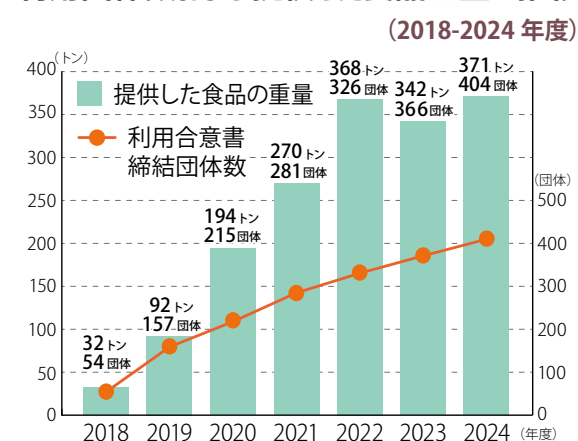
2024年度 フードバンクかながわの概況

寄贈いただいた食品重量の推移（2018-2024年度）

*その他…ベビーフード、栄養補助食品、家庭用品など



利用団体数および提供した食品重量の推移（2018-2024年度）



冷凍食品の活用を神奈川県内外に拡大 69.7トン（昨年比143%）

国の「休眠預金等活用制度」で、食支援の輪を広げました

助成金を活用し、地域フードバンク5団体が冷凍品の管理・物流体制を整えたことで、「冷凍食品を生かした支援食品のレベル向上」が進みました。販売できなくなった冷凍食品を11社から寄贈いただき、神奈川県をはじめとする1都4県の各団体を通して、食べ物を必要としているより多くの人へ渡すことができました。



※取り組みの背景には、物価高騰で生活困窮者が増加する一方、企業や個人から寄贈いただく食品は減少傾向のため、支援を必要とする人に十分な食品が行き渡りづらくなっている現状があります。

スマイルネットありがとう 群馬県邑楽郡大泉町

正規労働ビザで就労後、定年・失業・ひとり親になるなどにより困窮する外国籍の人たちを中心に支援しています。



月4回、週末に実施している食品配布活動の様子。利用者は13カ国国籍・460世帯にのぼる



助成金で購入したコンテナ冷蔵庫は太陽光パネル付き



奥行き約12m、冷凍食品をたっぷり収納できる

フードバンクTAMA 東京都日野市

自治体や社会福祉協議会と連携し、子どもたちを支える各種団体へ、ニーズに添った食品を定期配布しています。



冷凍食品を運び利用団体のスタッフ

冷凍食品を活用する提供先のこども食堂

日本ショーパー協会 埼玉県さいたま市

経営者団体の会員企業などと協力し、フードパントリー（食品提供団体）、外出困難者への食品支援などを実施しています。



冷凍の唐揚げ・炒飯などを「フードバンクいるま」にお届け



助成金で購入した冷凍車両。冷凍食品の受け取りや配布に大活躍

フードバンク山梨 山梨県南アルプス市

山梨県内の食のセーフティネットを支えるフードバンクシステムを構築し、生活困窮者や支援団体等を支援しています。



宅配用の冷凍食品の箱詰め作業

助成金で購入した冷凍トラックで宅配箱を運送会社に持ち込み

ぐるーぷ藤 神奈川県藤沢市

藤沢市・藤沢市社会福祉協議会・NPO団体と連携し、フードバンクふじさわや市内の子ども・地域食堂を支援しています。



自倉庫に入荷した冷凍食品は手分けして素早く仕分け



東扇島（川崎市）の冷凍倉庫にて。関係者が協力して寄贈いただいた食品を冷凍車に積み込み

ぐるーぷ藤 会長 鷲尾 公子様

休眠預金を活用した助成金により、冷凍車および大小の冷凍庫を購入するなど、コールドチェーンの整備ができました。藤沢市社会福祉協議会と連携し、ひとり親を対象としたフードパントリーを実施する「フードバンクふじさわ」や子ども食堂に、冷凍食品を提供することができています。冷凍食品は長期保存に耐えられること、ほとんど調理が要らず子どもだけでも簡単に食べられること、お弁当に便利なことなどから大変喜ばれています。

事業者寄贈・災害備蓄品 90.8 万点 262.3 トン 101 団体 (2023 年度 228.5 トン)

寄贈食品の活用により、食品ロス削減に協力しました

企業・団体からの食品の寄贈には食の安全を重視し、双方の信頼関係に基づく合意書を取り交わしています。合意書締結団体は 318 団体、事業者からの寄贈は 262.3 トンとなりました。(紙面の都合で敬称略とさせていただきます)



寄贈重量 (トン)	
*災害備蓄品	
マルハニチロ(株)	58.7
キリンビバレッジ(株)	25.1
コカ・コーラ ボトラーズ ジャパン(株)	17.8
生活協同組合ユーコープ	9.6
山崎製パン(株)	9.3
農林水産省(政府備蓄米)	8.5
(株)ミツハシ	7.2
相鉄ローゼン(株)	6.5
早稲田大学*	6.5
横須賀市	4.9
相模原市*	4.7
相鉄ホールディングス(株)	4.3
エバラ食品工業(株)	4.1
(株)シジシージャパン	3.8
戸田フーズ(株)	2.9
富士フィルムビジネスイノベーション(株)*	2.4
大洋エーアンドエフ(株)	2.1
葉山町*	2.0
JFE スチール(株)*	1.8
茅ヶ崎市	1.7
神奈川県	1.5

1.5 トン以上寄贈いただいた団体を掲載
その他

- 寄付金による購入 41.9 トン (2023 年度 28.8 トン)
- <内訳> ・米 33.7 トン
- ・その他食品 8.2 トン



フードドライブ 33.3 万点 114.4 トン 175 団体および個人のべ 495 人 (2023 年度 117.6 トン)

食品ロス削減・わかちあいの輪が広がりました

フードドライブとは、家庭に眠る食品をフードバンクを通して食の支援が必要な方に届ける活動です。行政や小売店に食品回収ボックスが設置されているほか、企業が働く人に協力を呼びかけたり、スポーツ・イベント会場でのブース出展など、SDGs の取り組みの一環として、多様なスタイルで実施する団体が増えています。(紙面の都合で敬称略とさせていただきます)



フードドライブに取り組んで

株式会社イトーヨーカ堂 経営管理室 サステナビリティ推進部マネジャー 大塚由美子さん

イトーヨーカ堂は、2020 年 6 月にフードバンクかながわ様と協力してイトーヨーカドー横浜別所店でフードドライブ回収ボックスの常設を開始しました。この取り組みをモデルに毎年常設店舗を拡大し、イトーヨーカドー・ヨークの 56 店舗からフードバンクかながわ様を通じて寄贈した食品は累計で約 86 トンとなりました。(2025 年 3 月末時点)

※全国では 92 店舗にて実施、寄贈した食品の累計は約 179 トン 25 年 2 月末時点)

店頭ではフードドライブの PR も実施しており、2024 年 3 月にはヨークフーズ藤沢六会店でフードバンクかながわ様と協力して啓発イベントを開催しました。

これからも明るい未来のために、お客様や地域に寄り添った活動を推進してまいります。

フードドライブ実績 (トン)	
イトーヨーカドー (61 店舗)	21.2
パルシステム神奈川 (15 事業所)	20.0
生活クラブ生協 (32 事業所)	14.9
ユーコープ (85 事業所)	11.3
そうてつローゼン (17 店舗)	7.4
無印良品 (40 店舗)	7.2
(株) 安田物産	2.6
横浜市社会福祉協議会	1.5
中栄信用金庫	1.4
(株) 山星屋	1.2
JA さがみ	1.1



当社は、神奈川県で本年 70 年を迎える給食・弁当製造や LP ガス・機器設備を販売している企業です。長年にわたり神奈川県で企業活動をおこなっていますが、当社は幼児様から学童様向けの給食提供が全体の 8 割以上になり、本活動は食品の大切さや有難さ感謝する素晴らしい取り組みとしてお手伝いさせて頂いています。また、昨年より横浜ベイス

株式会社安田物産 総務部 副部長 天野 一さん

ターズの当社冠試合で入場ゲート横にて本活動をおこない、PR も併せて実施しています。

当社の業務では厳しい安全基準がある関係で、食材の廃棄を致し方なく行っておりますが、スタッフや納品関係の事業者様にもフードロスに対して改めて考える機会を与えて頂きましたので応援させて頂いています。



イベント会場には「キュンとするまち。藤沢」の公式マスコットキャラクター「ふじキュン」も来てくれました。

提供先団体での食品活用の様子 提供 127.2 万点 371.4 トン 288 団体 3,932 回 (2023 年度 341.8 トン 289 団体 4,013 回)

こども食堂等、食支援活動を行う団体の登録は増え続けています（合意書取り交わし団体数 404 団体）。
物価高騰に加え米価の急激な上昇により、食支援を必要とする方々はますます増えています。

提供団体内訳：行政・社協 49 団体、フードバンク 70 団体、こども食堂 131 団体、
施設・福祉・外国関連支援等 38 団体

子ども／地域食堂



横浜みどりの学校ひまわり
月 1 回の楽しいランチタイム
「ひまわりふれあいレストラン」



フードパントリー＆
みんなの居場所ぶどうの木
子ども食堂用のお弁当を準備中



ユナイテッドかながわ
こども食堂を通して関係を築き、遊び相手、相談場所の提供へ



かみつまひまわり食堂
毎月開催の、幅広い年代が参加する食堂。
調理中の様子



みんなの食卓 kitchen あんづら
子ども食堂は少人数で、参加者も和気あいあい



長後みんなのおうち食堂
高齢者から子どもまで誰でも気軽に来られる食堂、毎月開催



TSUNAGU 食堂
こども食堂で実施したクリスマスイベント。約 80 人で記念撮影

その他さまざまな活動



フードバンクふじさわ
ひとり親家庭に配布する食品を
ボランティアなどが協力して仕分け中



こども家庭支援センターゆいの木
フードバンクが提供した麺で、
今日は流しそうめん体験



フードパントリー＆おやこの広場 えんむすび
食品配布と同時に開催する「おやこの広場」



ちゃり Tea 屋♪
地震と豪雨被害に見舞われた能登半島で、
継続した支援活動を実施



フリースペースたまりば
川崎市若者就労・生活自立支援センター
〈ブリュック〉でヤマザキパンを配布



HAYAMA 居場所プロジェクト
子どもの居場所活動 1：おやつ作り、2：火起こし体験



新沢悠友会
老人会の役員による、訪問配布用の
五目ご飯作り

フードパントリー



お福分けの会
配布商品を家庭ごとに仕分け中。
ひとり親世帯を対象に 2 か所でお渡し



相模中央キリスト教会
年 3 回の食品無料配布デー。
この日は約 50 名の方が受け取りに訪れた



つづきケアポケット
食品を手渡しする様子。
2 月は 10 世帯（26 人分）に食品をお渡し



平塚市社会福祉協議会
年末年始の問い合わせに備え、
すぐ渡せるように食材をセット



あさみぞふれあい夢広場
セルフ形式で食品を選べる。
整理券に 1 時間半前から行列ができる



川崎市社会福祉協議会
女性支援イベントではフードバンクかながわ提供の
米を活用



チームやどりぎ
フードパントリーを準備中。
障がいがあり、日々食料の必要な利用者も多い

ありがとうの声

フードバンクかながわが 食品を提供する団体より

- ◆「お米が高くてこれまでのように買えない…育ち盛りの子供たちにおなか一杯食べさせたいのでお米がありがたいです」と話す一人親家庭のお母さんが多くいます。定期的に食品を提供することが、お母さんの心の支えになっていると感じます。（NPO 法人アーモンドコミュニティネットワーク）
- ◆ライフラインが止まってしまっている世帯、またライフラインはつながっていても、そもそも調理をしないという世帯も多く、やはりすぐに食べられるものがありがたがられています。1 日 1 食などでしのいでいたという方からは、食のありがたみを実感したという声を聞きました。（神奈川区社会福祉協議会）
- ◆支援している中には、あまり調理をしない人も多く、米類・レトルト・缶詰が喜ばれます。また子どもだけで朝食をとるためすぐ食べられるスープ、レトルトを必要とする家庭もあります。（フードロスゼロもろおか）
- ◆フードパントリー（食品配付）の新規利用が毎月増えており、3 月からは月 2 回開催としました。利用する方の状況はさまざまですが、少しでも日々の生活が安心できるようにお手伝いできればと活動しています。（ホームタウンみなみ Minnade）
- ◆物価高の影響により生活困窮世帯が増え、食べ物に困る方が増えています。食事の量を減らしたり、子ども達にも満足に食べさせることができない世帯も増えていますのでとても喜ばれています。（ひまわり相模原）
- ◆冷凍食品を受け取れるようになったことは子ども食堂として大きな前進となりました。今後とも食を通じた地域のコミュニティの場でありつつ、フードロスの削減に団体としても協力していきたいです。（長後みんなのおうち食堂）
- ◆たくさんの食品をありがとうございます。多くの種類が届くのでその中から提供する食事の内容を決めています。変わった食材もあり、作り甲斐があります。親に頼れない施設出身の子ども達には簡単に食べられる食品が喜ばれます。（ビーバーリンク木月）

会員団体の活動

フードバンクかながわは神奈川県内の非営利協同12団体により設立しました。フードバンク事業を通じ地域の「たすけあい」「ささえあい」「分かち合い」、相互扶助の社会づくりを目指して活動しています。(紙面の都合で敬称略とさせていただきます)

生活協同組合ユーコープ

店舗(8月・1月、一部店舗は通年)とおうち CO-OP(宅配)の一部地域でフードドライブを実施しています。また組合員が主体で呼びかける「米一合プロジェクト」や、販売できなくなった食品の寄贈にも取り組んでいます。2024年度はフードドライブ約11トン、破袋したお米約2トン、おうち CO-OP のキャンセル品約7.5トンを寄贈しました。



店舗のフードドライブコーナー



各地域の組合員が集めたお米は合計 332.4kg!

生活クラブ生活協同組合

配送業務とデポーでフードドライブキャンペーンを、また共同購入による食支援「おふくわけ」に取り組ましました。共同購入により自分たちが求める消費材の価値をつくり、組合員どうしのたすけあいを基盤に地域社会に参加型福祉を広げてきました。家庭で余った食品を組織的に集めて支援を必要とする人々に届ける行為を当たり前のしくみとして、今後も継続していきます。



復興まつりでのフードドライブ活動



「おふくわけ」米がフードバンクかながわに到着

神奈川県労働者福祉協議会

「連帯・共同で作る安心・共生の福祉社会」の理念のもとで加盟団体が「助け合い・支え合い」をキーワードに、共助・共益の諸活動・事業の充実、および広く市民・県民の福祉に結びつく取り組みを進めています。県下9つの地域労福協で「お米一合運動」やメーデー・総会など行事にあわせて「フードドライブ活動」を積極的に展開しました。



三浦半島地域労福協が集めた食品を寄贈



ヨコハマ wai! wai! フェスタ 2024 にて

生活協同組合パルシステム神奈川

より多くの組合員が自分に合った方法で参加できる取り組みを進めました。()内は寄贈食品量

- ①直接寄付: 8月と1月にフードドライブを実施(13,451点/4.3トン)
- ②購入型支援: 組合員から注文を受ける「おみやりセット」を年9回企画(30,188点/9.6トン)
- ③購入運動型寄付: 組合員が購入した米の1%相当の米を寄贈(6.1トン)



「夢つなごう展」でもお米を集めました



「おみやりセット」は冷凍食品にもチャレンジ

日本労働組合総連合会神奈川県連合会

ゴールデンウィークに開催した第95回かながわメーデーは、県内9会場でフードドライブ活動を実施しました。横浜臨港パークの中央会場では、フードドライブブースに県知事・横浜市長も立ち寄られました。フードバンク活動に理解・共感を深めてくださる方が年々増えていると感じます。



フードドライブテントの前で、黒岩県知事と



回収ボックスに食品を入れるお子さん

公益財団法人 横浜 YMCA

横浜 YMCA が運営する学童クラブと保育園の子どもたちがフードバンクかながわで学習体験や見学を行いました。また秋には創立140周年を記念して140kgのお米を集めることを計画、会員の皆さまに呼びかけました。全国的なお米不足の時期にも関わらず大変多くの方の参加で、目標の約2.6倍、361kgものお米を寄贈することができました。



フードバンクかながわを訪問した学童クラブの子どもたち



お米 361kgをフードバンクかながわへ寄贈

神奈川県農業協同組合中央会

食料・農業・農村基本法の改正と米の価格高騰により「食料安全保障」の重要性にかかる機運が高まるなか、県農協大会やJA女性部でのフードドライブ活動など、さまざまな機会を通じた取り組みが展開されました。またJA中央会では、協同活動の重要性にかかる学習資料として、JA支店でのフードドライブ活動をテーマに動画を作成しました。



動画はこちら



農協大会でのフードドライブ活動

中央労働金庫神奈川県本部



推進幹事全体集会で集まった約65kgの食品

各支店の周年行事・推進幹事会主催イベントで、フードドライブを実施しました。また県下全域での取り組みも検討し、12月に「推進幹事全体集会」の会場で初めてフードドライブを実施しました。県下20店舗の推進幹事(240名)など多くの会員が参加したイベントで、多くの食料品回収につながりました。



鶴見支店推進幹事会は8月・2月に食品を寄贈

こくみん共済 coop 神奈川推進本部



フードドライブ品の2回目のお届け

年2回、職員でフードドライブに取り組み、計204点の食品を寄贈しました。また新たに神奈川県内7つの共済ショップで来店者に呼び掛ける取り組みも展開。たすけあいの輪を広げる活動として、また来店者の皆さまに「フードドライブの拠点」として認識いただけるように、次年度も同時期に取り組みます。



職員によるフードドライブ活動

神奈川県生活協同組合連合会



県議会の各会派と懇談を実施

神奈川県政へ団体の要望を反映させる取り組みを行っています。県議会の各会派へフードバンクかながわがとりまとめた重点要望を伝え、懇談を行いました。昨年は要望に対し2月の神奈川県議会で黒岩知事より支援を強化・推進する答弁があり、一定の成果が得られました。今後もフードバンクかながわと連携し、自治体などに要望を伝えていきます。

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金

生活クラブ生協の組合員からの寄付による「福祉たすけあい助成」を行いました。また財団独自の「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成」、オーダーメイドプログラムである「ユーコープ子ども応援助成」「JA横浜子どもの未来支援助成」の募集などでは、フードバンクかながわと連携した広報活動や、助成団体の情報共有を行いました。



ユーコープとJA横浜の助成募集のチラシ

特定非営利活動法人 参加型システム研究所

生活クラブ運動グループのシンクタンクとして調査研究や研究フォーラムを開催しています。情報誌「参加システム」は、市民の参加で社会を変え、市民社会を強めていくことをめざしており、食支援団体の活動についても発信しています。隔月で発行しています。



ありがとうの声

フードバンクかながわが食品を提供する団体から支援を得ている方々より

- ◆ 就職のため田舎の実家から上京してきましたが、引っ越しや慣れないことに戸惑い、3日くらい食事できずにいました。インターネットで食支援のことを知り、すぐる思いで相談したところ、支援してもらえ、とても助かりました。
- ◆ 食料品や光熱費の値上がりが続き本当に苦しいです。毎月助けてもらえることに感謝です。
- ◆ 子どもを抱えてシングルになってとても不安でしたが、食品をもらえることで、一人ではないと思えました。
- ◆ 大学を卒業できました。コロナ禍や物価高に加え、体調不良で経済状況が厳しかった私は、ご支援がなければ学び続けることは困難でした。学んだことを生かし社会に貢献するとともに、今度は支援側になれるよう、尽力してまいります。
- ◆ 年金支給前で食料がなく困っているときに支援をいただけるので本当に助かっています。
- ◆ 母子家庭で安定した仕事が見つからず、これまで掛け持ちパートで大変だったので、正社員になりたいと休職中です。物価高騰で生活費が足りない中、たくさん物資をもらえてうれしかった、大切に使います。
- ◆ お米が一番うれしいです。お米の分でお金が浮いたらその分、たんばく質や野菜が買えて助かりました。
- ◆ 昨今の物価高が家計を直撃しており非常に厳しい中でも、食べ盛りの子どものご飯をおかわりさせてやるのも毎月の支援があってです。本当にありがとうございます。
- ◆ 困窮状態からの脱却までの間の食品を提供してもらえてとても助かりました。
- ◆ 自身や家族が一からの出発の、何もないどん底の時に食品提供を受けることができ、精神的にもとても安心した。
- ◆ 抗がん剤治療中で食事の支度が思うようにできないため、レトルト食品等とても助かりました。ありがとうございました。
- ◆ いつも私たち家族をたすけてくださり、ありがとうございます。頂いたもので家計が浮いた子どもたちにお肉を食べさせられます。お菓子などは買えないので、子どもが喜びそうなものを頂いたときは私も嬉しくなります。

さまざまな活動

(紙面の都合で企業・団体名は敬称略とさせていただきます)

ボランティア参加 1,120 名

日々の運営にはボランティアの力が欠かせません。毎日個人や団体で、食品の仕分けや棚入れ作業をしていただいています。



横浜市立大学理学部



シニア連合



JA 横浜たすけ愛の会

学習会・体験研修・視察の受け入れ 83 回 2,421 名



JFE 労働組合



かわさき生活クラブ生協



(株)良品計画



国会議員の視察

寄付金 合計 15,699,304 円 37団体 および個人77人

ユーコープフードバンク募金	545 万円	小林義憲様	24 万円
日本農産工業(株)	100 万円	日立製作所労働組合神奈川県西支部	23 万円
横浜総合パン(株)	100 万円	電機連合神奈川地方協議会	20 万円
アンリツ労働組合	97 万円	立野千秋様	20 万円
(株) GM ネットワーク	75 万円	匿名 (F.S 様)	20 万円
匿名 (K.S 様)	60 万円	日本発条労働組合横浜支部	18 万円
横浜農業協同組合 (JA 横浜)	40 万円	生命保険協会	15 万円
(コメ計量機購入代金)		連合神奈川チャリティー交流会	14 万円
JA 横浜女性部	37 万円	多摩区応援プロジェクト	12 万円
伊藤玲子様	30 万円	匿名 (T.S 様)	12 万円
荻原邦男様	30 万円		

紙面の関係で12万円以上の寄付を掲載 千円以下切り捨て

助成金 合計 123,024,478 円

- ・休眠預金活用助成金 96,528,000 円 ※うち 8,000 万円を 5 団体に分配
- ・農林水産省助成金 19,996,478 円
- ・こども家庭庁助成金 6,000,000 円
- ・赤い羽根共同基金 500,000 円

実習生の受け入れ 1 名

NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ協会の「横浜市就労準備支援事業」の実習生を受け入れています。

食品ロス削減コースターデザインコンテスト

入賞の 9 作品でコースターと缶バッジを作り、イベント等で活用しています。

コンテスト入選作品

小学生の部



最優秀賞
難波 麦さん



優秀賞
小野寺 和さん



優秀賞
小関あかりさん

中高生の部



最優秀賞
荒本 律さん



最優秀賞
清水 満さん



優秀賞
遠藤奈々さん



優秀賞
深見日菜乃さん



優秀賞
佐々木ゆりあさん



優秀賞
榎本 緑さん

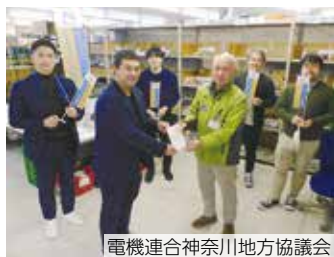
一般の部



横浜総合パン(株)



JA 横浜より
米の計量機



電機連合神奈川地方協議会

賛助会員

たくさんの団体・個人の皆さんに支えられて運営しています

法人の賛助会員：241団体 798口

(公開団体のみ、敬称略、数字は口数)

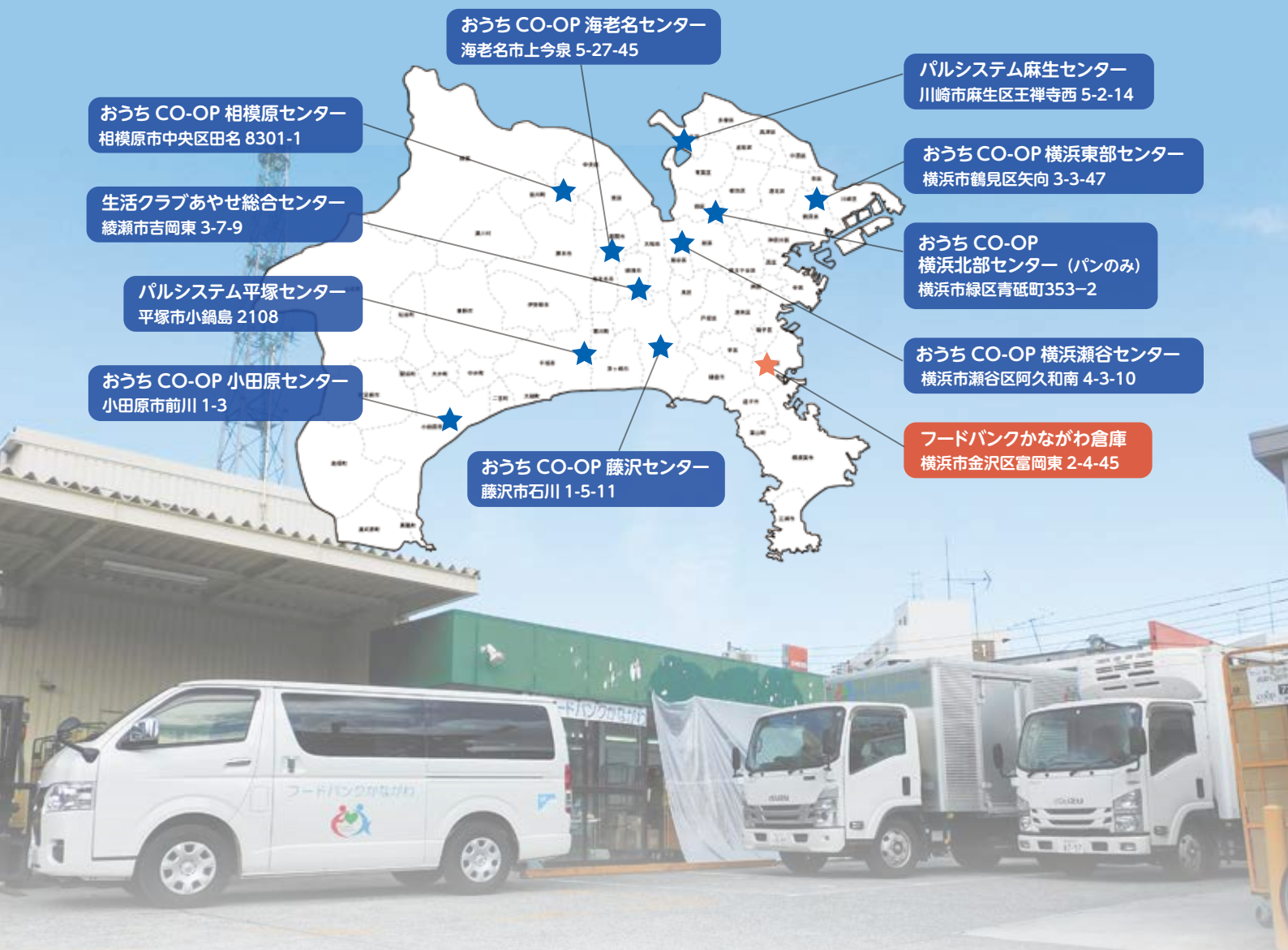
個人の賛助会員：329人 1,999口

お名前は割愛させていただきます

ア行 (株)アイホーム1/(株)アクセル1/味の素(株)10/厚木愛甲地域連合1/(株)あらた首都圏支社10/安全輸送(株)10/(福)いきいき福祉会3/(株)池田電気工事24/いすゞ自動車労働組合藤沢支部2/(株)伊藤園1/伊藤ハム(株)10/医療生協かながわ生活協同組合1/イワタ工業(株)5/生活協同組合うらがCO-OP3/(株)A-line express10/企業組合エコ・アド1/(株)NKトランス5/NTT労働組合神奈川分会1/遠州トラック(株)5/(株)大塚商会3/大塚製薬(株)横浜支店10/小田原・足柄地域連合2/小田原・足柄地域労働者福祉協議会2/オリックス自動車(株)横浜支店10/力行 加藤産業(株)10/かながわ教職員組合連合2/神奈川県教職員組合2/神奈川県教職員組合協議会2/神奈川県漁業協同組合連合会1/神奈川県厚生農業協同組合連合会5/神奈川県高等学校教職員組合2/神奈川県地方自治研究センター2/神奈川県電力関連産業労働組合総連合会2/(株)神奈川県農協情報センター5/(一社)神奈川県労働福祉センター(ワークピア)3/神奈川県大学生協同組合1/神奈川トヨタ自動車(株)10/神奈川北央医療生活協同組合1/神奈川みなみ医療生活協同組合1/神奈中タクシー労働組合4/Café de FUKUSHIMA1/川崎医療生活協同組合1/川崎運送労働組合1/川崎市教職員組合2/川崎市職員労働組合2/かわさき生活クラブ生活協同組合1/川崎地域連合2/川崎労働者福祉協議会2/川崎労働者福祉協議会商社会1/(株)カワタキコーポレーション1/木内建設(株)1/基幹労連神奈川県本部2/キッコーマン食品(株)10/共栄火災海上保険(株)京浜支店3/(株)GrapeMarketing1/県中央地域連合2/(株)コープライフサービス1/国分首都圏(株)1/(株)コモ10/コンチェット(株)3/サ行 (有)彩瑛2/さがみ生活クラブ生活協同組合1/さがみ農業協同組合5/相模原市教職員組合2/相模原市農業協同組合5/相模原地域連合2/相模原地域労働者福祉協議会2/サトウ食品(株)10/(株)GMネットワーク1/JA全農ミートフーズ(株)10/JFE物流京浜労働組合2/自治労神奈川県本部4/自動車総連神奈川県地方評議会2/JAMオイルス労働組合2/JAM神奈川2/JAMコイト電工労働組合2/湘南地域連合2/湘南教職員組合2/湘南生活クラブ生活協同組合1/湘南生活クラブ湘南ふじさわ commons1/湘南地域労働者福祉協議会2/情報産業労働組合神奈川県協議会2/(株)情報システム工学10/湘北教職員組合2/(株)スズキ自販湘南5/住友重機械労働組合連合会横須賀地方本部2/西湘地域連合2/西湘地域労働者福祉協議会2/西湘地区教職員組合2/(特非)セカンドリーグ神奈川1/セレサ川崎農業協同組合5/全印刷局労働組合小田原支部2/(特非)全員参加による地域未来創造機構1/全国共済農業協同組合連合会神奈川県本部5/全水道神奈川広域労働組合1/全水道川崎水道労働組合1/全水道横須賀水道労働組合1/全駐留軍労働組合神奈川地区本部2/全日本運輸産業労働組合神奈川県連合会2/全日本海員生活協同組合3/全日本水道労働組合関東地方本部神奈川支部1/相鉄ローゼン(株)5/タ行 (株)ダイイチ10/(株)タカキベーカーリー1/高梨乳業(株)5/(福)たすけあいゆい1/だれでもモバイル(株)1/(株)ティーカー3/(株)ティクフォー2/電機連合神奈川県地方協議会2/東京海上日動火災保険(株)10/東京サラヤ(株)南関東支店2/東芝労働組合小向支部2/東京電力労働組合神奈川地区本部神奈川カスタマーセンター支部2/東京電力労働組合神奈川地区本部1/東京電力労働組合神奈川地区本部川崎支部2/東京電力労働組合神奈川地区本部川崎火力支部2/東京電力労働組合神奈川地区本部相模原支部2/東京電力労働組合神奈川地区本部東扇島火力支部2/東京電力労働組合神奈川地区本部藤沢支部2/東京電力労働組合神奈川地区本部横浜火力支部1/東京電力労働組合神奈川地区本部横浜支部2/東都生活協同組合10/トーヨーカネツ(株)10/TOPPAN(株)10/ナ行 中地区教職員組合2/生活協同組合ナチュラルコープヨコハマ1/(特非)なんとかなる1/日興電機労働組合2/日産オートモーティブテクノロジー労働組合2/日産工機労働組合2/日産自動車労働組合2/日産車体労働組合2/日産労連神奈川地方協議会2/二宮町社会福祉協議会1/(株)日本アクセス1/日本食研(株)5/日本ハム(株)10/日本郵政グループ労働組合神奈川県連絡協議会2/日本郵政グループ労働組合川崎南支部1/日本労働者協同組合連合会センター事業団神奈川事業本部1/日本ロードマーク(株)1/ハ行 パナソニックオートモーティブシステムズ労働組合佐江戸支部2/パナソニックオートモーティブシステムズ労働組合池辺支部2/(株)はばたきケア1/ハマ冷機工業(株)5/(株)バリューハウス3/(株)日立製作所10/日立製作所労働組合ソフト支部1/(特非)ピッピ・親子サポートネット3/福祉クラブ生活協同組合1/富士通労働組合プロダクトグループ2/フジック(株)10/富士フィルム生活協同組合10/プリマハム(株)10/(株)宝幸10/北海道漁業協同組合連合会3/ボッシュ労働組合神奈川・東京支部2/マ行 まいばすけっと労働組合2/マドレーヌ1/マルハニチロ(株)10/三浦半島地域連合2/三浦半島地域労働者福祉協議会2/三浦半島地区教職員組合2/ミツヨ労働組合川崎支部2/(株)ミツハシ10/三菱化工機(株)労働組合1/三菱重工グループ労働組合連合会 本社・横浜地区本部2/三菱食品(株)10/三菱ふそう労働組合本社支部2/(株)三菱UFJ銀行10/(株)明治1/森永乳業(株)10/ヤ行 山崎製パン(株)1/(株)山星屋1/やまゆり生活協同組合1/UAゼンセン神奈川支部10/UAゼンセン神奈川支部共生部会創造委員会2/UAゼンセン神奈川支部ヤングリース2/UAゼンセン富士シティオ労働組合3/横浜北生活クラブ生活協同組合1/横浜北生活クラブあおば commons運営委員会1/横浜北生活クラブつるみ commons運営委員会1/横浜北生活クラブみどり commons運営委員会1/横浜北生活クラブわかば commons運営委員会1/横浜魚類(株)10/(株)横浜銀行10/横浜子どものあすを語る会1/横浜ゴム労働組合平塚支部2/横浜市教職員組合青葉支部1/横浜市教職員組合旭支部1/横浜市教職員組合泉支部1/横浜市教職員組合磯子支部1/横浜市教職員組合栄養教職員部1/横浜市教職員組合神奈川支部1/横浜市教職員組合金沢支部1/横浜市教職員組合港南支部1/横浜市教職員組合港北支部1/横浜市教職員組合栄支部1/横浜市教職員組合事務職員部1/横浜市教職員組合障がい児連絡協議会1/横浜市教職員組合女性部1/横浜市教職員組合瀬谷支部1/横浜市教職員組合都筑支部1/横浜市教職員組合鶴見支部1/横浜市教職員組合戸塚支部1/横浜市教職員組合中支部1/横浜市教職員組合西支部1/横浜市教職員組合保土ヶ谷支部1/横浜市教職員組合緑支部1/横浜市教職員組合南支部1/横浜市教職員組合養護教員部1/横浜水道労働組合1/横浜西南地区連合2/横浜西部地区連合2/横浜地域連合2/横浜東部地区連合2/横浜戸塚地区連合2/横浜なぎさ地区連合2/横浜農業協同組合5/横浜北部地区連合2/横浜みなみ生活クラブ生活協同組合1/横浜労働者福祉協議会2/横浜労働者福祉協議会東部支部2/よつ葉乳業(株)5/(株)ヨネヤマ1/ラ行 立建設(株)5/(有)Room for1/連合神奈川職員労働組合2/ロジスティード東日本(株)5/ワ行 協同組合事務局ワーカーズ・コレクティブJam1

中継拠点

フードバンク倉庫から遠距離の団体も利用しやすいように、3生協の協力のもとで10カ所の宅配センターを食品お渡し拠点としています。



おうち CO-OP 海老名センター
海老名市上今泉 5-27-45

パルシステム麻生センター
川崎市麻生区王禅寺西 5-2-14

おうち CO-OP 相模原センター
相模原市中央区田名 8301-1

おうち CO-OP 横浜東部センター
横浜市鶴見区矢向 3-3-47

生活クラブあやせ総合センター
綾瀬市吉岡東 3-7-9

おうち CO-OP
横浜北部センター (パンのみ)
横浜市緑区青砥町353-2

パルシステム平塚センター
平塚市小鍋島 2108

おうち CO-OP 横浜瀬谷センター
横浜市瀬谷区阿久和南 4-3-10

おうち CO-OP 小田原センター
小田原市前川 1-3

おうち CO-OP 藤沢センター
藤沢市石川 1-5-11

フードバンクかながわ倉庫
横浜市金沢区富岡東 2-4-45

代表理事	當貝 伸一	(神奈川県生活協同組合連合会代表理事会長、生活協同組合ユーコープ代表理事理事長)
	林 克己	(日本労働組合総連合会神奈川県連合会会長、神奈川県労働者福祉協議会会長)
常務理事	網野 拓男	(生活協同組合パルシステム神奈川代表理事専務理事)
	希代 監	(生活クラブ生活協同組合代表理事専務)
理事	荻原 妙子	(事業推進委員長、公益財団法人かながわ生き生き市民基金理事長)
	石川 晴美	(公益財団法人横浜 YMCA 副本部事務局長)
	金井 克之	(神奈川県労働者福祉協議会事務局長)
	河澄 一志	(生活協同組合ユーコープ執行役員 かながわ県本部長)
	里地 哲子	(生活協同組合パルシステム神奈川常任理事)
	四條 信仁	(神奈川県農業協同組合中央会専務理事)
	篠崎 みさ子	(生活クラブ生活協同組合代表理事理事長)
	田中 知巳	(神奈川県生活協同組合連合会代表理事専務)
	野上 憲王	(中央労働金庫神奈川県本部営業担当部長)
	前島 藍	(日本労働組合総連合会神奈川県連合会副事務局長)
	芳田 もえか	(生活協同組合ユーコープ執行役員 ブランドコミュニケーション・保証事業統括)
監事	小森 幸子	(神奈川県労働者共済生活協同組合事業推進部部長 (こくみん共済 coop))
	半澤 彰浩	(特定非営利活動法人参加型システム研究所理事・所長)
事務局長	藤田 誠	(常勤)
事務局次長	薩本 史郎	(生活協同組合パルシステム神奈川)
事務局	宇賀神 学	(生活クラブ生活協同組合)
	三枝 みさ子	(生活協同組合ユーコープ)
	中沢 昌彦	(生活協同組合パルシステム神奈川)
	津金 良彰	(常勤)
	市川 敏行	(かながわライフサポートセンター・神奈川県労働者福祉協議会)
	小林 薫	(非常勤)

公益社団法人フードバンクかながわ

〒236-0051 横浜市金沢区富岡東 2-4-45

TEL : 045-349-5803

FAX : 045-349-5804

Mail : info@fb-kanagawa.com

2018年 2月 22日 設立 HP はこちら



2025年3月31日現在

2025年6月発行 編集デザイン：企業組合 エコ・アド